

Rotary International District2780

# GOVERNOR'S

## Monthly Letter

奉仕しよう  
みんなの人生を  
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2022

6月号

Vol.12

2021-2022

ガバナー月信



第3グループ



第8グループ

### Service in Action



第9グループ



第6グループ



Rotary



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透  
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima





## クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区  
2021～22年度ガバナー

田島 透



あじさいの花が雨に濡れ、さわやかな初夏を感じる季節となりました。クラブ会長・幹事・会員の皆様はお変わりなくお過ごしのことと思います。

私たちの任期はあと1ヶ月です。年度の総まとめ、次年度への引継ぎ、新しい年度を迎えるに当たって次年度役員に対する協力などは勿論のこと、変わりなく例会も開催しなければなりません。慌しく年度末を迎えられることと思いますが、最後までクラブ運営に力を注ぎ、悔いのない年度を全うしていただきますようお願い致します。

今年は6月年度末までロータリー奉仕デーが各グループで実施されています。

シェカール・メータ国際ロータリー会長は、実践的かつ行動的なロータリー奉仕デーの開催をクラブに呼びかけています。この行事は、ロータリー重点分野の一つ以上に該当し、ロータリー内外からボランティアを集め、地域社会の課題に取り組むものとするのが奨励されています。

そこで、2780地区では、従来のIMのフォーラムを「ロータリー奉仕デー」に代えて開催をお願いします。

予定では3月までに実施し、その内容を地区大会で発表・紹介する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響

で予定を変更したグループもあります。

コロナ禍で開催方法を模索して実施された第8グループ(鳥山優子ガバナー補佐)は2月5日ラスカホールで開催しました。グラフィックデザイナー・太田幸夫さんのピクトグラム講演、ボーカル&手話パフォーマンスグループ「HANDSIGN」の生パフォーマンスが実施され、YouTubeライブ配信で平塚ろう学校、平塚学園高等学校インターアクトクラブの生徒が視聴されました。

2月21日、第6グループ(常磐重雄ガバナー補佐)はコロナ禍で思う様に夢が叶えられない児童に向けた奨励金交付事業をロータリー奉仕デーとして行いました。

3月10日、第3グループ(棕梨兼彰ガバナー補佐)はカンボジアの子どもに市内で募った運動靴などを送るプロジェクトを実施しました。

4月13日、第9グループ(木村哲也ガバナー補佐)は早朝から市民グループ(小田原ガイド協会、和みの会、お堀端商店街、花育成ボランティアなど)とともに地域社会に根ざした活動として小田原城クリーンアップ清掃活動を実施しました。

### CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	4
ウクライナへのチャリティ	5
インターアクト委員会より	6
地区青少年奉仕委員会より	8
地区研修委員会より	9

地区米山委員会より	10
地区戦略計画委員会より	12
地区会員増強維持拡大委員会より	14
地区補助金プロジェクト一覧	15
ロータリーの創生	16
コーディネーターニュース	18
GROW MORE MEMBERSHIP、新会員紹介	19



5月8日、第7グループ(大屋富茂ガバナー補佐)は、クアーズテック秦野カルチャーホールで、多くの市民に向けて前横浜市長の林文子さんを講師に招き「女性のエンパワーメント」に着目し講演会を開催した。

5月21日第5グループ(苗村泰徳ガバナー補佐・畷住悦子ガバナー補佐)は「環境」という新たな重点分野に注目し「ホテルの舞う相模原」でホテルの保全と育成をテーマにホテル保全会の皆さまと共に講演会と勉強会を実施しました。

そして今後は、5月29日、第4グループ(三澤京子ガバナー補佐)で相模川クリーンアッププロジェクト。6月5日第1グループ(北村理和子ガバナー補佐)による横須賀での環境プロジェクト、6月11日、第2・3グループ合同ロータリー奉仕デー(石田隆ガバナー補佐・棕梨兼彰ガバナー補佐)による茅ヶ崎市民文化会館でハートフルコンサートが予定されています。

### 【会員増強とNPO】

各クラブの皆様には会員増強の意識を高く持っていただいておりますが、当初の会員増強の目標達成はかなり厳しい状況となっています。会員の増加よりも減少を食い止めて維持することも困難であるというクラブの声をも聞きます。

ここ数年の世界の会員数とクラブ数の推移を表1に示します。

昨年まで会員数は減少しクラブ数は増加傾向があります。会員数の少ないクラブが増加していることがうかがわれます。今年は世界的には120万人というRI会長の目標は達成出来そうです。

表1 世界と2780地区の会員数の推移

	会員数	増 減	クラブ数	増 減
2017/7/1	1,202,605		35,656	
2018/7/1	1,194,838	-7,767	35,680	25
2019/7/1	1,189,261	-5,577	35,890	209
2020/7/1	1,174,890	-14,371	36,159	269
2021/7/1	1,162,763	-12,127	36,614	455
2022/4/30	1,202,253	39,490	36,891	277

表2 日本と2780地区の数値

	日本	2780地区
2022/5/12		
会 員 数	84,513	2,261
ク ラ ブ 数	2,232	65 (衛星クラブ)
女 性 会 員 数	6,224	282
女性会員比率	7.34%	12.5%

日本における会員数は84,513人(5月12日)、女性会員比率も7%台となっています。2780地区は会員数2,261名(17人増)と厳しい状態です。

### 【NPOとロータリー】

第一生命経済研究所・北村安樹子氏はNPOを通じた若者の社会参加の実態について以下のように分析しています。NPO従事者ではNPO収入の有無にかかわらず、「いろいろな人や社会とのつながりをもちたい」「自分の能力や可能性をためしたい」「仕事を通じて達成感をえたい」「社会のために貢献したい」といった、自己実現や社会貢献に関する理由をあげる人の割合が同世代の企業従業員に比べて大幅に高くなっています。

「NPO(民間非営利組織)に関する世論調査」によれば、NPOに「参加したいと思う」と答えた人の意識は若い年代ほど高く、20歳代で56.1%、30歳代で54.2%を占め、定年前後の50歳代(47.0%)や60歳代(39.6%)を大きく上回っています。(図1)

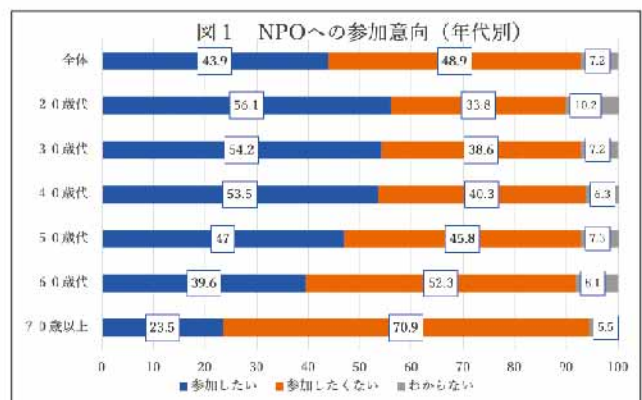
NPOの若者の意識は「人と人との新しいつながりを作る」や「やりがいや能力を発揮する機会を提供する」といった点への支持率が高いと報告されています。つまり、若い世代では、NPO活動への関心が高く、NPOに人とのつながりや自己実現の機会を求める傾向が強いと考えられます。

NPOとロータリーを単純に比較することはできませんが、この内容から奉仕をしたい若者が多くいることが想像されます。若い人を呼び込むためにロータリーの高い会費を見直し、柔軟な例会運営を導入し、地域にインパクトある奉仕活動を継続するなど会員勧誘へ向けてプラットフォームを考え直すことも必要ではないでしょうか。

### 参考文献

<https://www.dlri.co.jp/pdf/ld/01-14/rp0703.pdf>

<https://www.dlri.co.jp/pdf/ld/01-14/notes0607a.pdf>







## ロータリー親睦活動月間

2021～22年度  
第9グループ ガバナー補佐

**木村 隆也**  
(小田原RC)



### 6月はロータリー親睦月間 (Rotary Fellowship Month)です。

「ロータリー章典」によりますと、「クラブと地区は特にロータリー親睦月間である6月中に、親睦活動を推進するよう奨励されている」とあります。ロータリーにおける会員同士の友情、友愛を育むための親睦活動を積極的に行うということです。

国際親善と善意の重要性を認識して親睦活動への参加の増加とプログラムに対する理解を促進させる為、RI理事会によって「ロータリー親睦活動月間」として指定されています。

日本ではよくロータリーの原点は「奉仕と親睦」と言われていますが、会員同士の「親睦」が育まれるのは、まずは例会に出席することから始まり、奉仕活動を共にし、初めて「親睦」へ繋がるのではないかと思います。

私が入会した頃(2001年)には例会場入口には「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉が掲げられていました。いつの間にかその言葉の掲示は消えていましたが、私にはその言葉がロータリーを表す言葉として非常に解りやすいものでした。

入会当初に先輩方から「会員の皆さんが忙しい時間を割いて例会に出席していただくのだから、ロータリーは楽しくなければいけない。」と言われていたのを思い出します。私も入会してから20年以上ロータリーを続けて来られた理由の一つとして、やはり「親睦」があると思います。

私の所属するクラブにおいてもクラブ奉仕に会員家族親睦委員会があり、毎年様々な企画が行われて本当に楽しいものばかりです。はぐるま会(ゴルフ同好会)、旅行同好会などでも会員同士の繋がりを深めております。

ある資料に、「あらゆる有用な職業から選ばれた職業人が、週1回の例会に集い、例会の場で職業上の発想の交換を通じて分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図る。その結果として奉仕の心が育まれていきます。この例会における一連の活動のことを『親睦』と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれ家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。

これが理想とするロータリークラブです。」と書かれていました。

先日、4月13日(水)には第9グループ「ロータリー奉仕デー」を開催させていただきました。ロータリーの7つ目の重点分野であります環境に目を向け、地域のボランティアグループにご協力をいただき、小田原城を中心にその周辺の清掃活動を行いました。

コロナ禍により各クラブで例会を始め様々な事業が中止になっていて、世間的にもなかなか開催に踏み切れない時が続きましたが、やはりこういう時だからこそ皆で集まり、奉仕活動を通してクラブに活気を取りもどしていただこうと、中止ではなく延期という形をとり、まん延防止等重点措置が明けた4月に開催することができました。

第9グループ全体で行う事業は本当に何年かぶりということもあり、ロータリー活動を志す仲間の連帯、友情をあらためて再認識する事業でした。その後の「奉仕デー合同例会」での「親睦」も大いに盛り上がり、参加者からも久しぶりにロータリー活動を通して感動したと言っただけでした。まさに「奉仕と親睦」を味わった1日でした。





## 古都鎌倉 主催コンサートにて、 ウクライナへのチャリティを実施

前川 朋子

声楽家(ロータリー財団学友)



ロータリーの皆様こんにちは。財団学友(スポンサークラブ藤沢東RC・ドイツ)、声楽家の前川朋子と申します。

4月6日水曜日、鎌倉駅前にある鎌倉生涯学習センターホールにて、「北欧フィンランドの調べvol.3」を開催いたしました。このコンサートは、2015年より、フィンランドの歌曲・ピアノ・ヴァイオリン曲などの作品を取り上げ、その魅力を皆様にお楽しみやすぐご紹介する演奏会で、これまでフィンランドに縁のある演奏家の方々とともに鎌倉より発信し、おかげさまで3回目を迎えました。今回はスカンジナビア・ササカワ財団からの助成を取り付けることができ、フィンランド人テノール歌手ユホ・ブンケリ氏を招聘して開催の予定でしたが、新型コロナによる我が国の外国人への入国制限は非常に厳格で、入国緩和となった3月以降も様々な手続き上の困難に見舞われました。時期を同じくし、ロシアによるウクライナへの攻撃が始まりました。ロシア上空を飛ばず迂回ルートでフライト時間は通常の3時間増しとなってしまう、又一方で、空港検疫での陽性判明とその後の隔離といった昨今の事例も耳にし、歌手であるブンケリ氏の健康とキャリア、スケジュールへのリスクを考え、来日を強いることはできなくなりました。なによりロシアに隣接するフィンランドに住む彼にとって、この旅行が少なからず心理的不安となっていたこともあり、残念ではありましたが、安穏な世の中になってからの実施が妥当と判断し、それを約束いたしました。ブンケリ氏には、コンサート中、ビデオメッセージを伝えてもらい、お客様からは、ウクライナのこと、フィンランドの置かれた状況などを身近に感じたとの意見をいただきました。

新型コロナウイルスのパンデミック、そして今回のウクライナ危機……どちらも世界中が影響を受け、憂慮する日々が続いています。インターネットでリアルタイムに、戦地の無残な光景や、不安と苦しみに直面する人々を目にするとき、私達は怒りとともに、



平和に向けて何かできることはないのかと焦燥感を覚えます。今回のコンサートでは、来場される皆様がそれぞれ持っていらっしゃるお気持ちを、ウクライナの方に届けるため、会場ロビーに募金箱を設置しました。来場者数は普段よりは少なく、午後・夜の部合わせてのべ80名ほどでしたが、88,888円もの募金が寄せられました。お預かりした金額のうち半額を、第2780地区ガバナー事務所を通しポーランドのシュチェチンRCの活動へ。そして半額をロータリー日本財団の災害救援基金へとお送りしました。地球上に住む私達人類が、国、民族、文化が違っても助け合えることを、国際ロータリーは実現して来られましたが、財団学友としてこの組織に関わらせていただき、一般の方々からも信頼を得て、微力ながらも行動できたことを感謝しております。コンサートの最後に、以前ウクライナ人歌手オクサナ・ステパニウクさんと舞台上で共に歌い、とても印象に残った民謡「我がキエフ(キーウ)」を、平和の願いを込め、ウクライナ語、日本語で演奏しました。この動画は現在YouTubeに載せておりますが、高木直之ロータリアンがシュチェチンRCの担当ロータリアン、マレク・ヴルブレフスキ氏にお知らせいただき、避難生活を送るウクライナの皆様にも届いたかと思えます。故郷を離れ、家族と離れて暮らす子供達にも一縷の安らぎをもたらせたなら幸いです。

この戦争が平和的に解決することを望むばかりですが、それは難しいのでしょうか。一般市民や犠牲になっている子供達がこれ以上大きな悲しみに包まれないようにと、祈るしかありません。音楽という恵みが人々の勇気や癒しになるように、今後も活動してまいりたいと思います。



「我がキエフ」の  
YouTube 動画  
<https://youtu.be/GceJ3Z-sarA>



## インターアクト日帰り研修会・ 台湾3481地区とのオンライン交流会・ 3年生を送る会

2021~22年度  
インターアクト委員会  
委員長 **大河原 幸夫**  
(相模原西RC)



2021-22年度地区インターアクト委員会もコロナ禍の影響でインターアクト年次大会、海外(台湾)研修、直近では3月の新世代交流会も中止を余儀なくされましたが、3月21日に「まん延防止等重点措置」が解除になり、その直後の3月26日(土)10時~16時に急遽、三浦学苑高等学校の体育館や教室等をお借りして標記研修会等をリアル開催しましたので報告致します。

例年(今年度の当初の予定も)3月最終週はインターアクト一泊研修を開催していましたが、宿泊は感染防止上難しいと判断し、日帰り研修会に変更しました。ほぼ2年以上なかったリアル開催でのイベント。インターアクター、インターアクト学友会、顧問教諭、ロータリアン、合わせて総勢60名での開催です。

### 【日帰り研修会】

今年度幹事校である鎌倉学園中学校高等学校のDIRによる点鐘にはじまり、インターアクトの歌と綱領を斉唱し、ガバナーエレクト、IA委員長に続き三浦学苑高等学校の校長先生にもご挨拶を頂いた後、インターアクト学友会がリーダーシップを発揮し、参加者の緊張をほぐすために「アイスブレイクゲーム」で身体を動かしながら2つのゲーム



を行いました。最初は堅かったインターアクターの表情も柔らかく笑顔が弾けます。他校の生徒ともようやく交流が出来た素晴らしい機会となりました。

感染予防のため学校単位で昼食をとった後、第2部では実行委員会6人が自作したSDGsカルタを使った17の目標をもとに作った課題を読みながら、カルタを楽しみました。



### 【台湾3481地区とのオンライン交流会】

2019年まで毎年12月に4日間の日程で台湾台北3481地区のインターアクターとの交流を目的に海外研修を行っていましたが、コロナの影響で2年間中止となっていました。そこで今回、初めてオンラインでの交流を試みました。

言葉の壁があるので、予めお互いの紹介時間を15分程度とし動画を流して、また質疑応答タイムを





## インターアクト委員会より



設け通訳役のロータリアンにお手伝い頂きながら、試行錯誤で交流致しました。台湾の学生は台湾語以外に英語が話せるので、日本の学生も英語の文章を用意してカタコトながらも意思の疎通が少しは図れた、良い経験になったと思います。

質問コーナーでは予想外の質問などもあり、盛り上がった交流会となりました。1時間ほどの短い交流でしたが、近いうちにリアルでの再会を約束して名残を惜しみつつの閉会となりました。



## 【3年生を送る会】

日帰り研修・台湾との交流会、第2部の研修・ゲームも終了した夕方近くには、本日最後のプログラムである「3年生を送る会」を行いました。

この3月で卒業したインターアクター1人1人にIA委員長から卒業証書を手渡しました。今回

参加できなかった卒業生にも学校に卒業証書をお送りしました。最後に在校生と卒業生代表双方から感謝の言葉をお送りして締め括りと致しました。

卒業した皆さん、おめでとう!!

ロータリーファミリーの一員であることを忘れず、将来何かの形でロータリープログラムに参加頂ければ幸いです。



## 【結びに】

地区内インターアクトクラブの皆さん、顧問教諭、提唱クラブ、地区役員含め全ての関係者そして、急な依頼を快く受託して頂き、多くの先生方のご協力を頂いた三浦学苑高等学校の皆様がこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、次年度以降は年間を通してフルスペックの活動が行えること、インターアクターの笑顔で溢れている状況である事を祈念しております。1年間本当に有難うございました。







## 横須賀ローターアクトクラブ・ 三浦学苑インターアクトクラブ 合同奉仕活動



横須賀ローターアクトクラブ  
会長 竹岡 力



三浦学苑インターアクトクラブ  
会長 石塚 丸武

4月24日、横須賀ローターアクトクラブと三浦学苑インターアクトクラブが合同で奉仕活動(清掃活動)を行いました。これまでも両クラブは合同例会やミーティングを開催して世代を超えた交流や活動内容での連携等を行ってきましたが、一緒になって奉仕活動に取り組むのは今回が初となります。

まず観音崎京急ホテルのホールにて合同点鐘を行った後、メインプログラムの導入として、横須賀ローターアクトクラブの小用幹事よりクラブの概要や日頃取り組んでいる奉仕活動についてプレゼンテーションがありました。その後2つの班に分かれ、ホテル周辺の海岸沿いの清掃活動をスタート。提唱クラブの横須賀ロータリークラブの会員も含め、たばこの吸い殻やペットボトル、プラスチックごみ等を拾いました。道中お互いのクラブの様子やメンバーの交流について意見交換する様子も見られ、合同奉仕活動ならではの収穫も多分にあつたように感じます。終了後はホテル敷地内でバーベキューを楽しみ、懇親の場となりました。会場手配やごみの収集等でお力添えいただいたロータリークラブの皆様、ありがとうございました。

この度は、「RAC・IAC 合同奉仕活動」に参加させていただきありがとうございました。最初に合同例会にて、RACから今年度の活動の振り返りと来年度の活動の方針についてのお話を聞きました。その後、4グループに分かれ、観音崎京急ホテルの周辺を横須賀RC、横須賀西RC、RACの方々と交流しながら、清掃活動を行いました。実際に清掃する中で、落ちていたゴミの多くは、ペットボトルやタバコ、金属部品だということが分かりました。これらのゴミは、海の生態系を脅かし、人類への悪影響をも及ぼしてしまいます。今回の活動を通して、改めてボランティアの大切さを学びました。

清掃活動を終えて記念写真を撮った後、RCの方々がBBQを主催してくださいました。BBQでは、清掃活動で同じグループになれなかったRC・RACの方々ともお話することができ、貴重な時間を過ごすことができました。

新型コロナウイルスの影響により、満足に行うことができていなかったボランティア活動に今回参加できたことは私たち三浦学苑IACにとって有意義な時間となり、一つの思い出となりました。またこのような機会があれば、積極的に参加していきたい、地域社会に貢献できれば幸いです。今後とも、三浦学苑IACをよろしく願います。



# 「2021-22年度地区研修・協議会」 を終えて

2021～22年度  
地区研修委員会

副委員長 **生駒 秀之**  
(綾瀬RC)



2022年4月29日「2780地区 地区研修・協議会」が開催されました。2年間コロナ禍にてweb開催でしたので、3年ぶりのリアル開催です。しかし当初の予定から日程が何度も変更され、会場は学校施設が使えず、相模原市民会館を中心に複数の施設での分散開催という異例の事態になりました。ホストクラブの相模原中ロータリークラブを中心とする実行委員会の皆様には、かつてないほどのご苦労ご尽力をいただきました。最後まで大きなトラブルもなく無事開催できましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、地区研修・協議会の目的は、次年度の方針を共有し、クラブのリーダーとなる方々が一堂に会して研修を受け、次年度への準備をすることにあります。

佐藤ガバナーエレクトからは、次年度のRIテーマと地区方針、そしてご自身の熱い思いが語られました。ジェニファー・ジョーンズRI次年度会長は、ロータリー史上初の女性会長であり、「イマジン ロータリー」をテーマに掲げています。ビデオが放映され、その思いやマーク

デザインの意味合いが紹介されました。「参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。」「想像してみてください、大きな夢を描き、その実現のためにロータリーのつながりを生かしましょう。」と呼び掛けました。

それを受け、佐藤ガバナーエレクトは、「取り戻そう」そして「記憶に残る年にしよう!」を地区方針とされました。コロナ禍で失った事、忘れてしまった事、希薄になってしまった事をもう一度取り戻そう、そして後から振り返って「あの年は・・・」と印象と記憶に残る年になるよう、皆で独自性を発揮し、かつて経験したことのないことに積極的に取り組み、生き生きとしたクラブにしようという提案しています。

続いて部門別研修では、12部門に分かれ、リーダー・サブリーダーの指導の下、活発な意見交換が行われました。



「知る事、学ぶ事、そして好きになる事」。RI会長の思い、佐藤ガバナーエレクトの思いが参加者、そして各クラブに伝わり、次年度の活動指針に生かされることを心より願っております。

最後に、ご参加いただいた皆様、実行委員会の皆様、リーダー・サブリーダーの皆様、地区委員会の皆様、ガバナー事務所の皆様、お力添えいただいた全ての皆様に心より御礼申し上げ、報告いたします。







地区米山委員会より

## 第2回 米山奨学生と学友同窓生の集い



米山学友会 副会長  
段 毛毛

5月8日に、鎌倉の光明寺で米山奨学生の同窓会を行いました。米山委員会の皆様のお蔭で、有意義な同窓会を開催することができました。ここで感謝の意を申し上げます。皆様のご協力により、盛況のまま無事終えることができました。

今回の同窓会は前回と同じハイブリッドという形で開催しました。盛り上げたのは現場だけではなく、Zoomでも十数名の方が参加し、活発なディスカッションを行いました。本当に大変素晴らしい同窓会でした。同窓会の流れとしては、まず米山学友委員長早川正彦様、ガバナー田島透様と米山委員長三荒弘道様から温かい挨拶をいただきました。そして、米山学友会会長のルイ ツリン様から、米山現況について報告しました。その次は米山親善大使の李昱昊(リアキヒロ)様に、基調講演「波紋のように広がる—感恩の輪・奉仕の輪・平和の輪」をしてもらいました。ご高話を拝聴することができ、大変勉強になりました。今後私も李昱昊様のように様々な奉仕活動に参加したいと考えています。その後グループトークを始め、架け橋になるためどうすればいいかと自分がロータリーになったら何をやりたいかについて、ディスカッションを行いました。いろんな意見と考え方が出てきて、大変有意義なトークになりました。グループトークが終わった後、現場参加の四つのグループとZoom参加の二つのグループは各グループのトーク内容をまとめ、グループ発表を行いました。そして、普段は決して登れない山門に上がって、記念撮影をしました。山門から綺麗な海が見えて、こんな眺めは初めてでした。最後は懇親会を行い、お寺の精進料理を初めて食べました。貴重な体験でした。

ゴールデンウィークの最終日は、皆様と光明寺で過ごすことができ、大変楽しい一日でした。今後もこのような同窓会の開催を期待しております。



米山学友会 副会長  
ウン チェンキン

今回の第2回 米山奨学生と学友同窓会の集いでは、《米山》の歴史、良さが伝わったため、《米山》の魅力を知ることができ、貴重な時間となりました。

当日のグループディスカッションは米山奨学生と学友一緒にチームにて十分なコミュニケーションが出来て、チームメンバーと一緒に交流を通じて奨学生と学友の絆をもっと深めていると思います。

学生時代には、奨学生として採用して頂きました。その結果、アルバイトに費やす時間を減らし、以前よりも多くの時間を勉学に充てる事が出来るようになりました。今、社会人として吸収できる知識・学びを存分に得て、奨学生達の活躍を応援・支援することができるよう目指します。

このような機会を頂きありがとうございます。今後もテーマを設定して、このような集いを設けて欲しいです。宜しくお願い致します。

### 「第2回 米山奨学生と同窓生の集い」を終えて

米山学友委員会 副委員長 小山 美智恵 (横須賀RC)

米山奨学生のこれまでの累計は2万人を超えておりますが、連絡先不明の方も多く、学友との繋がりを維持したいという思いから昨年より同窓会を企画しております。

今回は鎌倉の光明寺を会場にお借りし、米山親善大使の李昱昊氏の基調講演の後、会場4グループ、Zoomを2グループに分け、今の自分が将来世界の架け橋となることについてトークを行い、山門の見学や精進料理を頂くなど貴重な体験の機会となりました。



Zoom併用の音響設定に苦労はありますが、海外からの参加も可能となるブレイクアウトルームの利用に大きな可能性を感じております。今後学友の参加者が増えるよう名簿の整理を進め、奨学生と学友のふれあいの時間がお互いを高め合うことで自分自身の将来像を想像しやすくなることにも期待しております。アンケートの意見を参考により楽しく有意義なものとなるよう改善していきたいと考えております。





## 2022学年度 米山奨学生の紹介

2022学年度も各クラブ会員の皆様のご寄付、ご支援により新奨学生24名と継続奨学生10名、計34名の米山記念奨学生が決まりました。

大学から推薦され、様々な国から留学されている優秀な学生たちです。

クラブを通して彼らを紹介したり、今後開催されるイベントに参加いただいで、多くのロータリアンの皆様との交流が図れるよう、心待ちにしています。

修学 状況	氏名	氏名(カナ)	氏名(英文)	性別	国籍	専攻	課程	期間	世話クラブ	カウンセラー
新 規 奨 学 生	趙 劉興	チョウリュウコウ	ZHAO, LIUXING	男	中国	総合政策	学部	1年	藤 沢 南	後藤 康太
	查 雯婷	サブンティ	ZHA, WENTING	女	中国	洋 画	博士	2年	相模原南	黒河内彰子
	張 安依	チョウアンイ	ZHANG, ANYI	女	中国	環境デザイン	学部	1年	相模原ニューシティ	金井 浩一
	イバデウラエワ, アセリヤ	IBADULLAYEVA, ASSELYA	IBADULLAYEVA, ASSELYA	女	カザフスタン	コンピュータ応用	学部	1年	かながわ湘南	奥 和子
	李 俊龙	リジュンロン	LI, JUNLONG	男	中国	総合デザイン	学部	1年	藤 沢 西	原田 武司
	ウンル, ゼケリヤ	UNLU, ZEKERIYA	UNLU, ZEKERIYA	男	トルコ	情報工	学部	2年	ふじさわ湘南	岡本 将太
	チャー, シーチ	TIA, SHEE QI	TIA, SHEE QI	女	マレーシア	情報メディア	学部	1年	大和田園	古谷田紀夫
	王 冠博	オウカンハク	WANG, GUANBO	男	台湾	歯 学 科	歯学	1年	横 須 賀	佐久間博一
	鐘 泳晴	ショウヨンチン	CHUNG, YUNGCHING	女	台湾	歯 学 科	歯学	1年	葉 山	神朔 理紅
	林 庭萱	リンテイケン	LIN, TINGHSUAN	女	台湾	歯 学 科	歯学	1年	横須賀南西	宮本 清志
	朱 奕琳	シュイリン	ZHU, YILIN	女	中国	社会情報学科	学部	2年	相模原中	阿部 毅
	曹 セナ	ジョセナ	JO, SENA	女	韓国	社会情報学科	学部	2年	相模原西	栄枝 隆成
	傅 嘉慧	フウジアフェイ	FU, JIAHUI	女	中国	地球社会共生学科	学部	1年	相模原グリーン	李 爽
	ナムキャサクン, クンラポーン	NUMKIATSAKUL, KULAPORN	NUMKIATSAKUL, KULAPORN	女	タイ	日本文学専攻	修士	0.5年	秦野名水	山谷 洋子
	アルザハラーニ, ハニーンアブドラエム	ALZAHIRANI, HANEEN ABDULLAH M	ALZAHIRANI, HANEEN ABDULLAH M	女	サウジアラビア	応用理化学専攻	修士	2年	平 塚 西	長谷川 清
	岑 佩龍	シンハイリュウ	CEN, PEILONG	男	中国	日本文学専攻	修士	1年	秦 野	田中 宏顕
	徐 鳴雪	ジョメイセツ	XU, MINGXUE	女	中国	物理学専攻	修士	1年	小田原中	大野あゆみ
	ノルナデイレビンティムハマドザハリル	NOR NADHIRAH BINTI MD ZAHARIL	NOR NADHIRAH BINTI MD ZAHARIL	女	マレーシア	機械工学専攻	修士	1年	秦 野 中	川口 洋
	ムラド, ホダワリードエム	MURAD, HODA WALEED M	MURAD, HODA WALEED M	女	サウジアラビア	人間環境学科自然環境課程	学部	1年	茅ヶ崎中央	小嶋あずさ
	ブルラトガハデワゲーチャンドラシリ, マユミハンシカ	BULATHGAHA DEWAGE CHANDRASIRI, MAYUMI HANSIKA	BULATHGAHA DEWAGE CHANDRASIRI, MAYUMI HANSIKA	女	スリランカ	航空宇宙学科航空宇宙専攻	学部	1年	伊勢原平成	蜘蛛 匠
	タウルス, ファジャールビマ	TAURUS, FAJAR BIMA	TAURUS, FAJAR BIMA	男	インドネシア	建築学科	学部	1年	大 磯	大藤 勉
	馬 躍航	マヤクコウ	MA, YUEHANG	男	中国	電子情報工学専攻	博士	1年	平 塚	青山紀美代
	姜 曉涵	キョウギョウカン	JIANG, XIAOHAN	女	中国	情報学専攻	修士	1年	藤 沢 北 西	府中 洋
	★ダーボドネハッド, アマーカスラ	DAVOUDNEJAD, AMIRKASRA	DAVOUDNEJAD, AMIRKASRA	男	イラン	環境デザイン・ガバナンス	修士	2年	イノベーション ゲートウェイ湘南	久野 孝稔
継 続 奨 学 生	★サラショー, ソマヤ	SALAHSHOOR, SOMAYA	SALAHSHOOR, SOMAYA	女	アフガニスタン	英 文 学	修士	2年	アーカス湘南	原 いづみ
	龔 青宇	キョウセイウ	GONG, QINGYU	女	中国	総合政策学科	学部	2年	鎌倉中央	梅澤 保雄 山口 道孝
	羅 曼	ラーマン	LUO, MAN	女	中国	人間環境学科	学部	2年	茅ヶ崎湘南	渡邊 来
	チャン, ワンヘングハロルド	CHAN, WAN HENG HAROLD	CHAN, WAN HENG HAROLD	男	マレーシア	ロボット・メカトロニクス	学部	2年	鎌 倉	中島 広数
	郭 育婷	カクユウテイ	KUO, YU TING	女	台湾	歯 学 科	歯学	2年	横 須 賀 北	佐々木佑倫
	黄 尉倫	コウイリン	HUANG, WEILUN	男	台湾	歯 学 科	歯学	2年	逗 子	山本 由夫
	ジャリー, バーバラアナスタシア	JALLAIS, BARBARA ANASTASIA	JALLAIS, BARBARA ANASTASIA	女	フランス	ホスピタリティマネジメント	学部	1.5年	大 和	花岡 淳子
	ファラナタシャビンティムスタファ	FARAH NATASHA BINTI MUSTAFA	FARAH NATASHA BINTI MUSTAFA	女	マレーシア	機械工学専攻	修士	2年	平塚湘南	杉崎 一雄
	万 東晟	マントウセイ	WAN, DONGSHENG	男	中国	電子情報工学	修士	2年	小田原北	中谷 元士
	ヴェンネルグンド, ヨハンナマリア	WENNERGRUND, JOHANNA MARIA	WENNERGRUND, JOHANNA MARIA	女	スウェーデン	メディア表現	学部	2年	海老名櫛	下郡山永一

★海外応募





## 地区の戦略計画について



2021～22年度  
地区戦略計画委員会  
委員長 **相澤 光春**  
(ふじさわ湘南RC)

地区戦略計画委員会に携わり3年目となりました。  
委員長を仰せつかり、地区の戦略計画について、広く議論し、地区ビジョン、優先事項・行動目標を策定することとなりました。

### 変化・中核的価値観

今日の世界を取り巻く状況は1905年にロータリーが誕生した世界とは異なり、人口構成は変わり、変化のスピードは増し、テクノロジーによってネットワークと奉仕のための新しい機会が生まれてきております。また、変えてはいけなものは、ロータリーを定義する5つの価値観つまり中核的価値観とされており、また、人びとのニーズに応じて奉仕することがロータリーの中核となり、強さの証であるとされています。マーク・ダニエル・マローニーRI元会長は「ロータリーは世界をつなぐ」の中で「国際ロータリーには地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強く末永い関係構築ができる確固とした使命と構造がある」と述べられておりました。

### ロータリー進化・発展のために

将来の方向性を見出し、発展するためにDLP・CLPそして国際ロータリー・ロータリー財団(ロータリー)の戦略計画として2007年に発表、2010・2013年に改訂。活動の基本理念として中核的価値観と実践目標(優先項目)が示され、ロータリーの行動規範改定、行動人としての行動計画が示され、2019年1月の理事会でDEI(多様性・公平さ・インクルージョン)を採択し、実践の取り組みが検討されています。

### 地区のビジョンづくり

ビジョンづくりの最大の目的はロータリー活動が地域社会に広く認知され、ロータリーのイメージなどを理解して頂くことにあると思います。また、2017年理事会・管理委員会はロータリーの新しいビジョンを採択され、RIのロータリービジョン実現のため、地域社会のビジョンづくり(優先事項・行動目標)が推奨され、「地区ビジョン」の

策定に向け当委員会で多様な意見を出し合い、エレメントの必要性ならびに地区の課題について意見交換いたしました。

### 地区ビジョンを策定するに際して、エレメントを次の四つとしたしました

1. Together (多様な人々と共に)
2. Connect (つながり)
3. Take Action (積極的な行動)
4. Wonderful Encounter (素晴らしい出会い)

### エレメントと理想の奉仕活動

ロータリーの奉仕について故南園義一(防府RC)氏はロータリー活動における「理念と実践」について、『理念のない実践は活動の価値がなく、実践しない理念だけの活動は空虚だ』と話されておりました。加えて、『奉仕は一体的なもので、各奉仕を断片的に捉えるのではなく、また、一面的に考えるのではなく、包括的なものとして考えてほしい。そして、色々な奉仕活動が重なり合っただけとして考え、実践に移していくということです。』とも話されておりました。私は奉仕を一体的に捉えることにより一体感の醸成へと導き、実践に移すことにより地域社会への還元となり、そこに地域社会との新たなコミュニケーション・関わり合いが生まれてきます。一体感の醸成は強い組織へと導いてくれるのではないのでしょうか。

奉仕の中に親睦が生まれ、親睦の中に奉仕の概念が生まれてきます。奉仕は良い人間関係を創造し、奉仕の実践はクラブの中から湧いてきます。

### 親炙の心

関わり合いは素晴らしい人との出会いとつながりを感じ、コミュニケーションは地域社会から得られる尊敬、信頼感に繋がります。結果的に人との出会いに刺激を受け、感化されることとなり、自分自身の成長の糧となります。

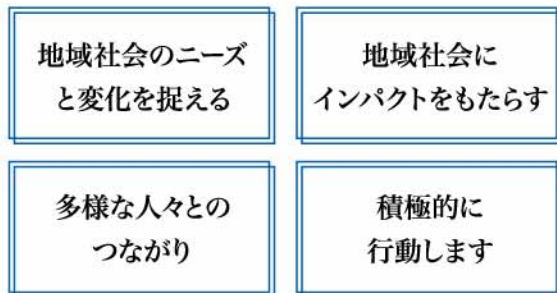


## 地区ビジョンの策定

エレメントと理想(夢)の奉仕活動を行い、地域社会が良い変化を生むための地区ビジョンの策定となりました。ビジョン:「私たちは、地域社会のニーズを捉え、インパクトをもたらす、多様な人びととの出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために、積極的に行動します。」

### 「地区優先事項」

地区ビジョンから4つのキーワード(優先事項)を抽出いたしました。



「4つの優先事項に16の行動目標を定めました」

### 1. 地域社会の変化とニーズを的確に捉える

(行動目標)

- ・地域諸団体との連携
- ・クラブの行動に繋がる地域社会の課題、情報を捉える
- ・地域社会との情報の受発信
- ・時代の変化に適応する組織の醸成

### 2. 地域社会にインパクトをもたらす

(行動目標)

- ・ポリオ根絶に向けた横断的な活動の推進
- ・地域社会に向けた開放的活動の推進
- ・地区活動の理解促進
- ・プロジェクト推進のためのクラブ活動状況の情報共有化

### 3. 多様な人々との出会いとつながり

(行動目標)

- ・ローターアクトクラブ及びインターアクトクラブの拡大など、若い人々への積極的支援
- ・地域で活動するより多くの人々とのネットワークを築く
- ・将来のリーダーの発掘、育成及びリーダーシップの継続
- ・年齢、キャリアを問わないプロジェクトの推進

### 4. 積極的に行動します

(行動目標)

- ・ロータリー財団への協力と補助金事例の発信
- ・クラブの積極的行動への促進と支援
- ・クラブ、グループ、委員会、ガバナー補佐の情報共有化
- ・安全、安心、環境保護を意識した行動

※地区ビジョンと行動目標は2024年RI戦略計画の見通しまで継続されます。

行動目標は毎年更新されていきます。

## 今年度の地区実践活動

今年度田島透ガバナーの強い想いとリーダーシップにより、地区方針に地区戦略計画4つの優先事項と今年度としての行動目標を取り入れられ、リーダーシップを発揮され各活動を積極的に進められ、成功裏に終わり、その目的を果たされたと感じております。

今年度の委員会では戦略計画を取り入れているクラブを月信でご紹介させていただきました。地区ビジョンを各クラブにおいてご理解頂き、クラブの戦略計画づくりの一助になれば幸いに存じます。

戦略計画はロータリーの目的達成の重要な手段でもあります。ロータリーの活動の原点はクラブの活動であり、クラブの素晴らしい実践活動を地域社会との関わり合いを深めながら、中核的価値観のもと自主的に積極的な奉仕活動を推進して頂ければと思います。

## 終わりに

3年間のスパンの中で地区戦略計画を進めてこられたのも毎年度の素晴らしい副委員長さんと優秀な委員さんに恵まれ、支えていただいたお陰と感謝申し上げます。

3年目の当委員会のメンバーは阿部副委員長、田島透ガバナー、佐藤ガバナーエレクト、田島敏久ガバナーノミニ、そして地区公共イメージ当間委員長、クラブ管理運営大隈委員長、地区会員増強維持拡大岩澤委員長、青少年奉仕岡田委員長、インターアクト大河原委員長、木村地区幹事、森田幹事、予定者、松下・鈴木両副幹事に大変ご尽力いただき感謝申し上げる次第です。



委員会メンバー



# 次年度向け会員増強セミナー 開催報告

2021～22年度  
地区会員増強維持拡大委員会

委員長 **岩澤 あゆみ**  
(茅ヶ崎RC)



**日時** 2022年5月14日(土)16時から18時

**場所** 藤沢ミナパーク6階多目的ホール

**テーマ** 「これからの会員増強維持を考える。増強サミット2022 ～理屈じゃない、情熱だ!～」

地区で数年ぶりとなる増強セミナーが開催されました。当日は、会長エレクト、次年度クラブ増強担当、ロータリーアクトクラブ、AG、AGE、地区委員会委員長など、100名を超える参加を頂きました。

## 第1部 佐藤祐一郎ガバナーエレクトからの次年度に向けたメッセージ

増強すること、そのものが奉仕である。ロータリーでは親睦とはFriendshipではなくFellowshipという。これは、ただの友情ではなく、志を同じくする者同士であるということ。増強もこの同じ志、同じ目標を持って取組む仲間を増やすということが大切。また、1年の中で最も入会者が多いのが7月8月。7月からの新年度がスタートダッシュできるよう、今日のセミナーでモチベーションを上げて頂ければと思いますとお話し下さいました。



取りながら、新規開店の企業等にも声かけをしていく。100名のリストがあれば20人は入ります!とリストの具体的な作成方法等もご紹介下さった上田直前会長。

セッションの途中では、会場にもマイクを回し、津久井中央ロータリークラブの高橋 幸一会長エレクトや、相模原ロータリーアクトクラブの張 旭会長エレクトにも現在のクラブの状況などをお話頂きました。

数年ぶりの開催となる増強セミナーでした。この数年間で様々な事が変わり、クラブ毎の悩みや課題も多様化しています。答えは常に1つではありません。これから始まる新年度に向けて、考えるきっかけとなるセミナーとなっていたら幸いです。増強の話を進める中で、最後はロータリーとは何か、何のためにロータリーが必要か、ロータリーのあり方というものも話題に上がりました。スタートは親睦であっても、シンプルにその地域をよくしたい人たちが一人でも多い地域の方がいいよね、そのためのロータリー。自分さえよければという人が多い時代だからこそ、ロータリー。改めて今、ロータリーというものの価値についても再確認するべき時が来ているのかもしれない。

## 第2部 トークセッション

進行: 地区会員増強維持拡大委員会  
副委員長 堂前 慶之(伊勢原RC)

パネラー: ・ガバナーエレクト  
佐藤 祐一郎(津久井中央RC)  
・座間RC パスト会長  
鈴木 義隆 \*最高の会員増加率受賞  
・小田原城北RC 直前会長  
上田 博和 \*最高の会員増加率受賞  
・地区会員増強維持拡大委員会 委員長  
岩澤 あゆみ(茅ヶ崎RC)

クラブの危機感を強く感じ、クラブ全体で未来について話し合いをし、覚悟を持って会員増強に励んだという座間ロータリークラブさん。目標をしっかりと持つこと、クラブ全体に意識を高め、水平展開をすることが大切だとお話しを下さいました。増強のためのリストがとても大事。会員の知り合いだけでなく、常に新しい企業などの情報を集めるために、不動産屋さんなどとコミュニケーションを

引き続き、地区の委員会として出来るクラブへのご協力をしたいと思っております。地区委員会をどうぞ活用ください。一人ひとりの会員の魂に火を灯そう!  
**GROW MORE MEMBERSHIP !!**





## 2022~23年度 地区補助金プロジェクト一覧

No.	地区/クラブ名	補助金 \$	実施地	プロジェクトの概要
1	本厚木RC	\$1,640	神奈川県厚木市	SDGsを幼少時より理解を深め、実践できるファシリテーターの育成をめざすプロジェクト。会場は、厚木市立厚木中学校、ロータリアンは会場にて、ボードゲームを用いてファシリテーター補佐または生徒達とともに楽しく、学べる体験機会を提供するものである。
2	海老名櫛RC	\$3,690	神奈川県伊勢原市	クラブ及び地域のシンボルである「大櫛」再生活動を通じて市民の環境意識を高め、地域緑地化を実践する為のプロジェクトである。地域の緑地化を推進し、将来的に植樹可能な櫛を育成し、今後、クラブ活動にて環境分野への奉仕を実践する。
3	秦野名水RC	\$3,200	神奈川県秦野市	障がい者が、後継者不足に悩む農家のいちご温室で作業を経験することで就労機会の確保を目指す事業です。農工業と福祉の連携強化をロータリアンが中心となって引き合わせをすることで障がい者の就労意欲の増進に寄与するものである。併せて障がい者の就労について市民の理解を深める一助とする。
4	三浦RC	\$2,120	神奈川県三浦市	クラブの奉仕事業として30年以上続くジャガイモ堀事業です。会員が植え、草刈り等を行い、収穫時に市内の小中学校特別学級の子供達、地域の養護施設の子供達、障がい者施設の利用者を招待し、会員とともに収穫を楽しんで貰う。会員のみで行っていた植え、草刈りも、市内の小中学校特別学級の児童に手伝ってもらい、ジャガイモの成長を実感できる内容とする。
5	座間RC	\$3,690	神奈川県座間市	ワークショップ・音楽・絵画・展示物作品等を開催して多くの市民と共に平和で幸せな世界を共に創る次世代の子供達が希望を持てる未来の展望を創造していく。その為に、自らが楽しみ、活動し、多くの市民と共に共感・協力し、平和で幸せな世界を共に創り上げていくための事業。音楽・絵画・語り・劇・ダンス・スポーツ・ストリートパフォーマンス・お笑い・写真・展示物作品等「平和で幸せな世界創りのために表現してみよう！」をテーマとしてあらゆるコンテンツを公募する。
6	相模原中RC	\$2,460	神奈川県相模原市	横浜国立大学軟式野球部の監督及び部員を講師陣に迎え、相模原市少年野球協会に所属する低学年の小学生(1~4年生の男女)を対象にコロナ禍で練習や試合が出来なかった児童向けに野球教室をサーティフォー相模原球場にてロータリアンが主体となり、準備、サポートを実施にて開催する。
7	大磯RC	\$1,480	ウガンダ共和国ブタンバラ県	ウガンダ共和国ブタンバラ県の住人と学校に通う子供達に安全な飲み水を提供するプロジェクトです。水インフラの未整備に起因する劣悪な衛生環境が問題となっており、子供の教育機会が奪われています。水汲みに携わることで発生する未就学児の問題や、女兒の場合には襲われる危険性も伴っており、HIVのさらなる感染が懸念されています。緊急性のある現地ニーズに応え、ロータリアンが現地NPO法人に協力することでプロジェクトをサポートし、進行状況にあわせた支援を継続予定。
8	厚木中RC	\$2,970	神奈川県厚木市	発達障害に対する理解を深めるための専門家による講演会開催及び映画上映。厚木市内の学生とその保護者が対象で、若い頃から発達障害に関する理解を深めることで、偏見や誤解を無くし、多様な人を受容し、誰もが活躍できる社会の実現に繋げることを目的とする。
9	横須賀RC	\$4,100	神奈川県横須賀市	9月のがん征圧月間、並びに10月のピンクリボン月間に合わせて、乳癌の早期発見、早期治療を促す「ピンクリボンかながわ2022」の活動に協力するため横須賀市役所をピンクにライトアップし乳癌検診の普及、啓発、受診促進を視覚的にアピールする。
10	相模原西RC	\$4,020	山梨県北杜市	難病の子供と家族のためのレスパイト施設(レスパイトは「小休止」を意味する言葉)である「あおぞら共和国」(山梨県北杜市)の森散策路を整備するため、薪割り機とウッドチップ作製のためのチップパーを購入し、ロータリアンと施設管理者が共同して作業に当たり、通路を完成させる事業。ロータリアンが整備事業に参加することで地域の環境保全を実施します。
11	2780地区	\$24,000		地区補助金奨学金



## Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

### ロータリーの創生 Vol.11

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)  
監 修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

#### <ロータリーと日本>

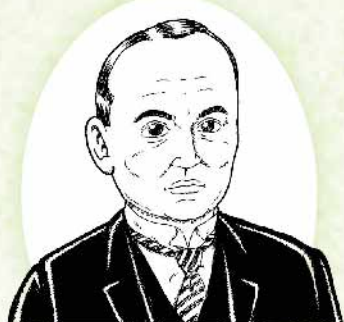
1919年、アジア初のロータリークラブがフィリピンに設立された。

そして翌1920年、日本にロータリークラブが日本人の手によって設立される。

三井物産社員の福島喜三次は1905年に渡米し、アメリカ各地を転任した後、1912年ダラスで三井物産現地法人サザン・プロダクツ社の支配人となっていた。1915年、同社社長が入会していたダラスロータリークラブに福島はアディショナル正会員として入会する。アディショナル正会員とは、一業種一人の原則の下で、同業既存会員の承諾が得られれば入会出来る制度で入会した会員のことである。彼が日本人初のロータリアンとなった。

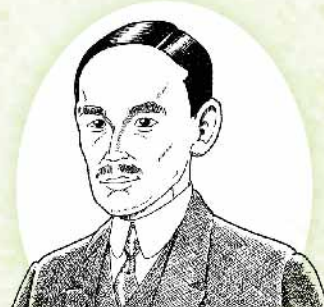
福島は1918年、ダラスで米山梅吉と出会う。

米山梅吉は英語学校(現 青山学院大学)を卒業後渡米しオハイオ州・ウェスレヤン大学やニューヨーク州・シラキユス大学などで法学を学んだ後帰国、勝海舟や井上馨と関わり、三井銀行に入社し日本各地の支店長を経て1909年、常務取締役役に就任した。



米山 梅吉

1917年、政府派遣財政経済委員の一員として渡米した米山は、現地駐在員として案内役を務めた福島の自宅で過ごすことになる。福島からロータリーについて話を聞き、大変関心を示したという。



福島 喜三次

#### <東京ロータリークラブ誕生>

1920年、帰国した福島のもとにアルバート・アダムス国際ロータリー連合会会長から日本にロータリークラブ設立をする旨の要請が届いた。

すぐに福島はこの特命を受け設立に向け動くが、当時の日本ではロータリーに対する理解が低かったのか、チャーターメンバーの人数が集められず断念せざるを得なかった。

しかしエスタス・スネデコル連合会新会長から再度要請が届き、更に新会長はパシフィック郵船横浜支店長のジョンストンにも協力要請をした。

米山は福島に協力し財界に広く話を持ちかけ、1920年9月1日に設立準備委員会を開き、10月20日に集まった24名のチャーターメンバーで創立総会が開かれ、東京クラブが誕生した。

連合会から1921年4月1日に正式に認証され、東京クラブの登録番号は「852」。

初代会長には米山梅吉、幹事には福島喜三次が就任して28名のメンバーでスタートした。

晴れて設立された東京クラブだったが、チャーターメンバーは財界の大御所が占めていたために、奉仕活動に積極的でなかったことは勿論、特別な成功者が集う社交クラブであるという間違ったメッセージを社会に与えてしまうことになった。

創立後すぐに福島は大阪へ転勤となり東京クラブを退会する。福島は転勤後も関西でロータリーを周知させ、関西財界でロータリーへの関心が高まっていった。英米訪問実業団の一員として渡米した星野行則はシカゴに赴きRI事務総長チェスレー・ペリーと会談し大阪クラブ設立の意向を伝えた。チェスレーは予めから日本でのロータリー拡大を考えており、自ら星野にクラブ設立について様々な指南をし、大阪クラブ設立の全権を委嘱した。星野は大同生命や日本女子大の創立に関わった広岡浅子を支え関西経済界で活躍した人物である。1922年11月1日、創立準備会が開かれ、同月17日25名のチャーターメンバーで創立総会が行われた。

初代会長は星野行則、幹事は福島喜三次が就任した。

1923年2月10日、大阪クラブはRIから認証され、登録番号は「1349」である。

米山の死後1952年、その功績を記念して東京クラブにより在留外国人学生支援を目的とした「米山基金」が設立され、後に文部省(当時)により財団法人の認可が下り、日本全地区の合同国際奨学事業となった。



星野行則



## ＜四大奉仕の概念＞

1927年のベルギーのオステンド国際大会において、ロータリーの組織管理合理化のため「目標設定プラン」が採択され、抜本的な再編成が行われた。奉仕活動の実践に対応し委員会組織を分類・整理させたのが「目標設定プラン」で提示された「四大奉仕部門」である。

これは理事会に目標設定委員会を設置し、「クラブ奉仕委員会」、「職業奉仕委員会」、「社会奉仕委員会」、「国際奉仕委員会」の四委員会を置くというもの。この四委員会の委員長にはそれぞれ理事が割り当てられた。



これまでの奉仕の考え方は、例会で会員同士の交流から奉仕の心を育ていき、互いに師となり学んでいくことで親睦が生まれてくるというものであった。そして例会で修得した奉仕の精神はクラブ外で個々に奉仕活動として実践するというように、理念を学ぶ場と実践する場が明確に分けられていた。更に「奉仕理念の哲学を学んだ後で、奉仕活動を実践する」というように順序立てもされていたわけである。

問題点としては、この考え方はとかく理念探求が優先され、実践を後回しにする傾向があり、また多種多様なクラブの活動に添った管理が困難な事であった。

一方「四大奉仕」が採用されることにより、多様な奉仕に対応出来るようになり、ロータリーの管理運営と奉仕活動の整合性が高められ円滑に運営する事が出来るようになった。これ以降「四大奉仕部門」はロータリーの管理運営の基本枠組みとして定着した。しかし「四大奉仕」は目標設定が多分化されたことにより理念追求が分散化され、原理が軽視されたり否定されたりする問題点も指摘されている。それでも採用に至った経緯は、ヨーロッパのロータリークラブで多大な成果が挙げられたという実例により正式採用に踏み切られたと言われている。

ロータリークラブ定款・第5条に記載されている「四大奉仕部門」にはロータリーの四大奉仕部門がクラブ活動の理念及び実践の基準であると述べられており、その理念が具体的且つ明解に定義されている。

## ■標準ロータリークラブ定款・第5条四大奉仕部門

ロータリーの四大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実践的な礎である。

**【クラブ奉仕】** 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。

**【職業奉仕】** 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道德的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

**【社会奉仕】** 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

**【国際奉仕】** 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

時を経て2007年、規定審議会で標準ロータリー・クラブ定款・第5条に「四大奉仕部門」の定義が掲載され、更に2010年の規定審議会に「新世代奉仕」が追加され「五大奉仕部門」となった。





## ロータリーの魅力とは

私たちがロータリーに入室し、会員であり続けるのは、ロータリーに対して何らかの魅力を感じているからでしょう。ロータリーに魅力がなければ、入室もしませんし、会員であり続けることはできません。その魅力をどうとらえるかはロータリアン一人ひとりにより異なるかもしれませんが。

私はロータリーの魅力について問い直すにあたり、あらためてロータリーの本質を正しく再認識することが欠かせないと考えます。ロータリーのCore Values(中核的価値観)にこそロータリーの本質があると理解します。

1. Service: 人のために良心をもって行う行為・行動すべてであり、ロータリーでは社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕と分類されます。ロータリーならではの奉仕の理想や超我的奉仕をさせていただくことに魅力を感じます。
2. Fellowship: 奉仕の理念に集う私たちロータリアンはいわば同志であり、志を同じくする仲間であります。その仲間を大切に思う心を育て、ともにロータリーの目的に向かう原動力となるロータリーならではの親睦に魅力を感じます。
3. Leadership: 世界中の多種多様なリーダーの集まりの中で、相互に啓発されて、そのリーダーシップを学び磨きあうことのできる例会や研修などの多種多様なプログラムを備えるロータリーのメンバーであることに魅力を感じます。
4. Integrity: 人としての在り方としての大切な芯となる、誠実・真摯・信念・品位・法令順守など高潔性に大きな価値を置き、自分磨きができるロータリアンとしての自覚と誇りが持てることに対して魅力を感じます。
5. Diversity: 国・民族・宗教・言語・人種・性別・職業・年齢などの多様性を受け入れて認め合うだけでなく、Equity(公平) Inclusion(包括性)の概念をとり入れて、誰一人として取り残すことのない世界をともに目指すことに魅力を感じます。

これら5つの中核的価値観をもとに、「私たちロータリアンはお互いに手を取り合って行動に移すことで、国際社会や地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出す世界を目指す」(ロータリーのビジョン声明)に対して大きな魅力を感じます。ロータリーはまさに、人としてのより良い生き方を学び成長することができる道場であり、世界平和をめざす実践哲学でもあります。このようなロータリーとの出会いに感謝してあらためてロータリーを学び、実践し、発信し、ロータリーを楽しみたいと思います。今まさに、ロータリーの魅力を再認識したうえで、時代の変化に適應した会員維持と会員増強が望まれます。

第三地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成 (あすかRC)

## 2021-22年度もあと1カ月

2020年1月15日に日本で最初のCOVID-19感染者が確認されて2年5ヶ月が過ぎましたが、未だ多くの感染者が確認されています。この間、ロータリー活動も制限され、例会やロータリーの会合の多くが、ZOOMを使ったオンラインでの会合やオンラインとインパースンを合わせたハイブリッド会合となりました。

そして、北京冬季オリンピックが閉会した4日後の2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻するという予想もしない出来事が起こりました。ロータリーの究極の目的が「世界平和」であることを考えると、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを願ってやみません。国際ロータリーは、早速2月25日にウクライナ情勢に対する声明を発売し、ロータリー財団はウクライナから避難する人々への人道支援のためにロータリー災害救援基金を募り人道的救援活動に活用していきます。そして、その額は1,450万ドル(5月12日更新)となっています。ロータリアンの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、2021-22年度もあと残すところわずかとなりました。この時期になると、年度初期に決めたロータリー財団の目標の達成の可否が気になります。特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」は毎年地区ロータリー財団委員長を悩ませる懸案事項です。幸い昨年は皆様のご努力で日本の第1地域から第3地域のすべてのクラブが寄付をさせていただき「年次基金ゼロクラブゼロ」を達成しました。ご存知のように年次基金への寄付は3年後の地区の地区補助金の財源となる貴重な資金です。この財源を利用して各地区の多くのクラブがプロジェクトを企画立案し、戦略計画に基づいてクラブの活性化を図ることが出来ます。皆様がロータリー財団の年度目標について、今一度ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

毎年日本のロータリー財団の目標はRRFCが策定することになっています。毎年国際ロータリー日本事務局財団室からの財団室NEWS 4月号に掲載されます。今年も次年度R財団目標が掲載されました。年次基金への寄付額目標は150ドル/ロータリアンですが、実はこの財団目標がクラブのレベルまで周知されていないことが、往々にしてあるのです。地区財団委員長の皆様には是非クラブレベルでの周知にご協力をお願いしたいと思います。

次年度はこれを踏まえ、地区財団委員長とロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRF-C)との合同会議を企画したいと思います。

第3地域の11地区では4月現在昨年同月比で8地区の寄付が昨年を上回りました。多くのご理解をいただき、コロナ禍の中にも関わらずご支援いただいたことに感謝申し上げます。更なるご理解をお願いいたします。

第三地域 RRFC 永田 壮一 (熊本城東RC)



## GROW MORE MEMBERSHIP!

~新会員's VOICE vol. 10~

地区会員増強維持拡大委員会 委員 鈴木 義隆 (座間RC)

新会員'sVOICE 10回目は第6グループの新会員をご紹介します。本厚木で独立し、これから地域の人たちとのつながり、出会いを求めていたところ、他団体で一緒だった会員にお声かけを頂き、入会をされた弁護士の本厚木ロータリークラブの林志保会員。2年前にサラリーマンから起業し、コロナ禍を経験する中で、もっと地域のために貢献したい、子供達のためになることをしていきたいという思いを持って入会された座間ロータリークラブの井上祐城会員。5年ほど前にお誘いを受け、その時はまだ早いかと断ってしまったものの、再び声をかけて頂き、今回は入会したというまだ36才の厚木県央ロータリークラブ小西嘉昭会員。入会の決め手となったことはどのようなことなのか、これからどのような活動をロータリーで取り組んでいきたいか、フレッシュな目線でお声を聞かせていただきました。新会員の皆様は何を感じ、これからをどう考えているかの声の中に、クラブにとっての増強維持のヒントが隠されているかもしれません。

(動画は約40分ほどです)


<https://youtu.be/PAODFYgfsaU>

## 新会員

井上 祐城 (座間RC)  
小西 嘉昭 (厚木県央RC)  
林 志保 (本厚木RC)

## インタビュー

岩澤あゆみ (地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC)  
鈴木 義隆 (地区会員増強維持拡大副委員長・座間RC)

## 新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



しげない まさる  
**茂内 勝**  
①寒川  
②2022.3.22  
③不動産  
④中野雅之・島村盛晶



ふかわ ともこ  
**府川 知子**  
①かながわ湘南  
②2022.4.1  
③高校教育  
④柚木裕子



おざわ けい  
**小澤 圭**  
①平塚西  
②2022.4.1  
③室内装飾工事  
④石井翼



きたむら ゆきえ  
**北村 雪江**  
①藤沢  
②2022.4.13  
③建材  
④小河静雄



はしもと まさひろ  
**橋本 正浩**  
①伊勢原  
②2022.4.13  
③柔道整復師  
④大滝義人・田中徹



とりかい かずさと  
**鳥飼 一吏**  
①大和  
②2022.4.19  
③税理士  
④桑原治夫



しもさと こうへい  
**下里 幸平**  
①平塚  
②2022.4.21  
③証券業  
④福澤正人・高橋賢二



すがはら けんすけ  
**菅原 健介**  
①藤沢南  
②2022.5.1  
③介護・訪問看護事業  
④後藤康太



もりおか ただし  
**森岡 正士**  
①藤沢南  
②2022.5.1  
③ファイナンシャルプランナー  
④新井智代



しのはら たくろ  
**篠原 覚**  
①相模原  
②2022.5.1  
③飲食業  
④志澤菜穂子

訃報  
ご冥福を  
お祈り  
致します



ながもと けんいち  
**長本 享一** (海老名樺RC)  
2022年4月24日逝去(享年62歳)  
2000年3月9日入会 ロータリー歴 22年  
2015-2016年度会長 第3回来山功労者  
PHF+3



## 第2780地区 2022年4月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数									
				4月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
				男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員
1	横須賀	4	77.74	114	14	121	14	2	1	9	1	-7	0
	横須賀北	3	88.89	19	4	20	4	0	1	0	-1	0	
	三浦	4	73.34	30	1	29	1	0	0	2	0	1	0
	横須賀西	4	100.00	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横須賀南西	4	86.95	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0
	計		85.38	188	19	195	19	5	1	12	1	-7	0
2	鎌倉	4	66.91	78	14	78	13	4	1	4	0	0	1
	逗子	4	57.45	42	4	45	4	2	0	5	0	-3	0
	鎌倉大船	4	63.05	15	0	16	0	1	0	2	0	-1	0
	葉山	4	53.57	21	4	22	4	2	1	3	1	-1	0
	鎌倉中央	2	68.75	18	4	22	4	1	0	5	0	-4	0
計		61.95	174	26	183	25	10	2	19	1	-9	1	
3	藤沢	3	70.54	42	14	42	13	2	2	2	1	0	1
	藤沢西	3	70.00	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤沢東	3	68.35	29	7	32	8	4	0	7	1	-3	-1
	藤沢北西	4	77.08	12	0	11	0	1	0	0	0	1	0
	藤沢南	4	66.95	38	7	38	7	1	0	1	0	0	0
	ふじさわ湘南	3	54.63	35	1	34	1	1	0	0	0	1	0
	かながわ湘南	2	61.90	21	13	21	13	1	1	1	1	0	0
	アーカス湘南	2	66.67	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
イノベーションウェイ湘	1	76.67	29	1	27	1	2	0	0	0	2	0	
計		68.09	229	46	228	46	12	3	11	3	1	0	
4	茅ヶ崎	4	85.85	38	5	39	5	1	0	2	0	-1	0
	寒川	3	93.33	31	1	30	1	2	0	1	0	1	0
	綾瀬	3	87.88	35	0	35	0	0	0	0	0	0	0
	茅ヶ崎湘南	4	64.19	43	1	41	1	5	0	3	0	2	0
	茅ヶ崎中央	4	82.65	49	3	49	2	3	1	3	0	0	1
	綾瀬春日	3	73.33	24	1	24	1	1	0	1	0	0	0
計		81.21	220	11	218	10	12	1	10	0	2	1	
5A	相模原	4	71.08	71	7	68	5	5	2	2	0	3	2
	相模原グリーン	3	66.02	51	5	52	5	0	0	1	0	-1	0
	津久井中央	3	87.32	25	4	20	4	5	0	0	0	5	0
	相模原橋本	4	47.18	63	8	59	9	6	0	2	1	4	-1
	相模原ニューシティ	2	59.99	42	5	42	5	0	0	0	0	0	0
5B	相模原南	3	85.69	51	9	51	7	3	2	3	0	0	2
	相模原中	4	92.60	26	3	27	3	0	0	1	0	-1	0
	相模原西	3	48.06	43	4	45	5	0	0	2	1	-2	-1
	相模原東	2	75.00	18	4	14	4	4	0	0	0	4	0
	相模原柴胡	4	71.29	27	2	26	2	1	0	0	0	1	0
	相模原かめりあ	2	85.00	30	30	23	23	7	7	0	0	7	7
計		65.77	455	85	435	76	31	11	11	2	20	9	

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数									
				4月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
				男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員
6	厚木	4	84.93	40	2	42	2	1	0	3	0	-2	0
	大和	4	92.82	36	5	33	5	4	0	1	0	3	0
	座間	2	65.52	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
	大和中	3	80.78	25	1	25	1	1	0	1	0	0	0
	厚木中	3	92.88	24	2	24	1	4	1	4	0	0	1
	大和田園	4	90.41	30	2	31	2	0	0	1	0	-1	0
	海老名	2	55.00	50	5	51	4	2	1	3	0	-1	1
	海老名樺	4	70.95	36	5	35	4	2	1	1	0	1	1
	厚木県央	4	74.56	39	3	38	4	2	0	1	1	1	-1
	本厚木	2	66.67	36	3	35	4	2	0	1	1	1	-1
計		77.45	346	29	344	28	19	3	17	2	2	1	
7	秦野	2	66.24	50	7	49	7	1	0	0	0	1	0
	伊勢原	4	61.94	51	3	51	3	3	0	3	0	0	0
	秦野中	4	86.49	38	2	39	2	1	0	2	0	-1	0
	伊勢原中央	2	95.84	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦野名水	4	80.00	15	7	16	7	0	0	1	0	-1	0
	伊勢原平成	3	60.00	20	1	19	0	1	1	0	0	1	1
計		75.09	186	20	186	19	6	1	6	0	0	1	
8	平塚	3	76.37	61	4	59	4	4	1	2	1	2	0
	大磯	2	78.03	15	2	16	2	0	0	1	0	-1	0
	平塚北	4	42.66	37	6	37	6	1	0	1	0	0	0
	二宮	2	93.75	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
	平塚西	3	62.07	29	1	30	1	1	0	2	0	-1	0
	平塚湘南	3	64.29	46	7	46	8	1	0	1	1	0	-1
計		69.53	196	22	196	23	7	1	7	2	0	-1	
9	小田原	5	85.28	64	5	58	2	7	3	1	0	6	3
	湯河原	5	84.81	25	4	24	3	2	1	1	0	1	1
	箱根	4	62.86	36	2	36	2	1	0	1	0	0	0
	小田原北	3	85.78	30	4	30	4	2	0	2	0	0	0
	小田原城北	4	70.61	45	3	45	3	1	0	1	0	0	0
	小田原中	3	77.90	49	5	49	5	0	0	0	0	0	0
足柄	4	73.37	18	1	17	1	2	0	1	0	1	0	
計		77.23	267	24	259	20	15	4	7	0	8	4	
総計		73.52	2261	282	2244	266	117	27	100	11	17	16	

地区内クラブ	地区内会員総数(人)	( )内は女性会員
65	2,261 (282)	
本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
117 (27)	100 (11)	17 (16)
横須賀西 RC 事務所 FAX 番号変更のお知らせ		新番号 050-3164-9374



## ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2021~2022 Governor

### Toru Tajima

■OFFICE

Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501  
Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,  
Kanagawa 251-0055 JAPAN  
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866  
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp  
URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022 年度ガバナー

### 田島 透

■事務所

〒251-0055  
藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル 5 階  
Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866  
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp  
URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2022年6月1日 第12号